

## 観光資源論 第4回:「観光資源」とはなにか？

担当:地域政策学部 観光政策学科

かたおか みき  
片岡 美喜

### 1. 本日の講義内容と目的

前回、前々回を通じて、「観光」とはなにか、について、歴史や定義をもとに学んだ。今回は、「観光資源」とはどのような資源なのかについて、定義、分類を知ることから学ぶ。

### 2. 「観光資源」の語源と定義

\* 語源は？

○観光資源とは…

「観光の対象、観光行動の目的となるあらゆるもの

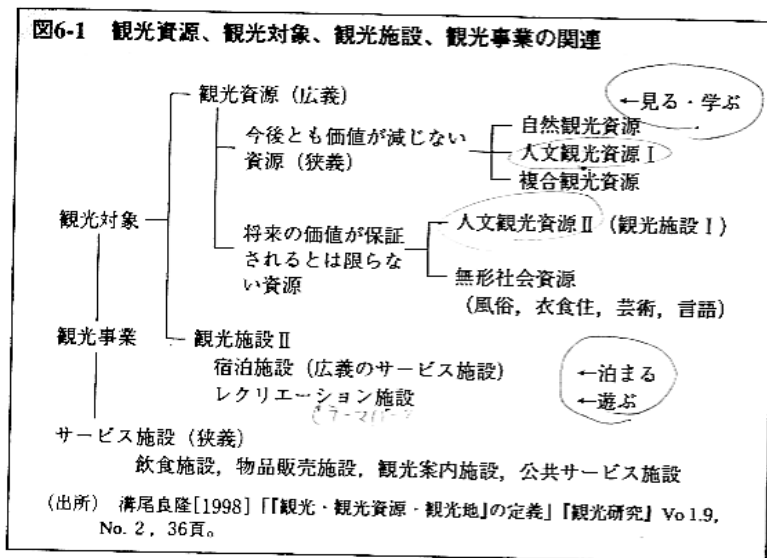
【須田寛『新・観光資源論』】

「観光対象（人の観光意欲をみたすすべてのもの）から観光事業者の供給する財貨とサービスを取り除いたもの

【足羽洋保『観光資源論』】

「観光資源とは、①今後とも価値が減じない資源と、②将来の価値が保証されるとは限らない資源を指す

【溝尾良隆「観光・観光資源・観光地の定義」『観光研究』】



**表 6-1 観光資源の種類**

自然観光資源	人文観光資源 I	人文観光資源 II	複合型観光資源
山	岳	史 跡	橋
高原	原	社 寺	近 代 公 園
高原	野	城 跡・城 郭	建 造 物 *1
湿 湖	原	庭 園・公 園	観 覧 施 設 I *2
湖 峡	沼 谷	歴 史 景 観	観 覧 施 設 II *3
	川	年 中 行 事	観 覧 施 設 III *4
	海	碑 ・ 像	テ ー マ パ ー ク ・ 遊 園 地
	岬	* 1 建 造 物	都 市 建 造 物, 産 業 観 光 施 設, そ の 他 建 造 物
	島	* 2 観 覧 施 設 I	一 動 物 園, 植 物 園
岩 石・洞	巖 窟	* 3 観 覧 施 設 II	一 博 物 館, 美 術 館
動 植 物	物 象	* 4 観 覧 施 設 III	一 水 族 館
自 然 現 象			

(出所) 日本交通公社調査部編 [1994]『観光読本』東洋経済新報社, 38頁を一部修正。

### 3. 観光資源の分類

大別すると・・・

- ①
- ②

### 4. 「観光資源」の特徴

- ①
- ②
- ③

### 5. 「観光資源」の観光における位置づけ

○観光四要素との関係とその作用

○観光資源から得られる効果

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

表1-1

	内 容
自然的資源	(1)天然資源 ①風景 ②温泉 ③動植物・野生生物 (2)天然現象 ①気候・風上 ②気象 ③自然現象 ④天体観測
文化的(人文的)資源	(1)有形文化財 (2)無形文化財 (3)民俗文化財 (4)史跡 (5)名勝 (6)天然記念物 (7)伝統的建造物群 (8)歴史的風土 (9)風土記の丘 (10)歴史的港湾環境
社会的資源	(1)有形社会資源 ①都市 ②都市公園 ③教育・社会 ・文化施設 ④テーマパーク等 (2)無形社会資源 ①人情・風俗・民話・行事など ②国民性・民族性 ③衣食住・生活 ④芸術・芸道・芸能・スポーツ
産業的資源	(1)工場施設 (2)観光農林業 (3)観光牧場 (4)観光漁業 (5)展示施設

※須田寛『観光資源論』

図2-1 観光要素とその関連

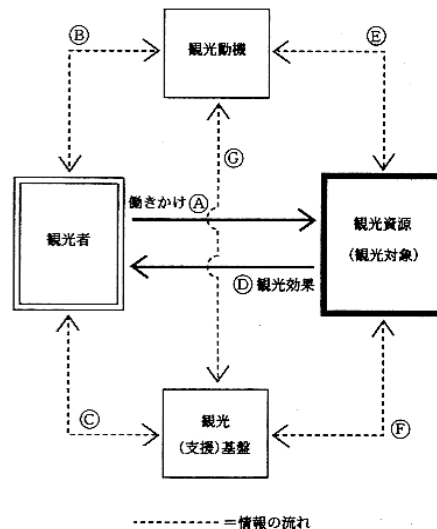


表3-1 観光資源の体系(例)

	有形観光資源	無形観光資源	総合観光資源
自然観光資源	・温泉 ・海(岸)、河川(湖沼) 山岳(高原) ・動植物(植物、動(生)物) ・天体(星)	・自然現象(不知火、しんさろ) う、オーロラ ・気象(雪、雨、四季) ・音	・自然公園(国立公園、国定公園、府県立自然公園) ・動物園、植物園、水族館 ・風光
歴史文化観光資源	・建造物 ・史跡(遺跡、城郭) (古墳) ・美術工芸(陶磁器、絵画、彫刻(仏像)、古文書等) ・有形民俗文化財	・無形文化財(音楽、技術、民話、能楽、演劇) ・無形民俗文化財	・神社寺院(庭園) ・美術館、博物館(記念館) ・テーマパーク
複合観光資源			・都市、農村(景観) ・リゾート
テーマ別観光資源(例) (産業観光)	・産業文化財(産業遺産)(機械器具、工場遺構) ・生産現場(工場、工房、鉱山) ・エネルギー(風車、水車、水道、ダム、発電所) ・交通通信(車両、船、港、通信設備、灯台) ・観光牧場、観光農場	・産業体験(農業、鉱業、工業) ・専門技術(わざ、熟練)	・産業博物館、資料館 ・インダストリアルパーク(総合産業公園) ・産業観光地域(産業テーマパーク) (注3)

(注) 1. 総合観光資源とは複数の観光資源がまとまりひとつの観光資源となったものをいう  
 2. 複合観光資源とは自然観光資源・歴史文化観光資源の両資源にわたる総合観光資源をいう  
 3. テーマ別観光資源に含まれるものの中には、個別にみた場合、自然・歴史文化資源に属するものもある。ここではテーマ別に角度を変えてその社会的機能に着目して、いわば社会的観光資源として再帰した

※須田寛『観光資源論』